

教科目名 工学実験 V (Engineering Experiments V)

学科名・学年 : 情報工学科 4 年 (教育プログラム 第 1 学年 ◎科目)

単位数など : 必修 2 単位 (前期 2 コマ, 授業時間 39 時間)

担当教員 : プロハースカ ズデネク, 小山 幸伸

授業の概要		大分高専目標(D1) (D2), JABEE 目標 (d2) (g) (i)	
回	授業項目		理解度の自己点検
1	科目説明, 問題分析の練習, ツールの使い方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 科目の PBL やファシリテーションを身近な テーマと技術的なテーマを対象として考え方 の基本を身につける. ○ 作業の流れを把握する. 	【理解の度合い】
2	グループ活動 (週報提出) グループ活動の大まかな内容 1. チーム内ミーティング 2. 分担領域の調査・開発 3. 時間内の活動報告 4. 次回の活動計画の確認	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第 2 回以降は, グループ活動となる. ○ 教員がクライアント役となり仕様策定を行う. ○ 第 7 回目に中間報告を行う. ○ 前回から今回までの調査結果をチーム 内に発表する. 問題点の確認, 再度問題が 発見されないかをチェックする. ○ インターネットや書籍等を用いて分担 領域を調査する. 必要であれば, 設計方針 を見直す. ○ 時間内の活動状況をチーム内に報告す る. 	
9	中間 報告		
	グループ活動 (週報提出)		
12	中間 報告 成果報告会	<ul style="list-style-type: none"> 今回の結果をもとに次回の活動計画をた てる. ○ 結果の報告をプレゼンテーションとレ ポートで報告する. 	
履修上の注意		グループ活動の一部として行った作業と自分で行った作業を明確 にすること.	【総合達成度】
教科書	PBL 形式の実験のため教科書は使用しない		
参考図書	「簡単 UML 入門」竹政昭利他, 技術評論社, 2013/6 出版		
自学上の注意	自宅学習の内容をよく考えて, 真剣に取り組むこと.		
関連科目	工学実験 V, 卒業研究, プロジェクト実験 I(専攻科)	【総合評価】 点	
総合評価	達成目標(1)は週報で, 達成目標(2)～(4)は週報, レポート, プレゼンテーションおよび学生間の相互評価で評価する. 総合評価は, 週報を 10%, レポートを 40%, プレゼンテーションを 30%, 学生間の相互評価を 20%の割合で 100 点満点として評価を行い, 総合評価が 60 点以上を合格とする. ただし, 週報をすべて提出し、かつ、レポートを提出した者のみを評価の対象とする. なお, 評価項目の詳細は「実験・演習マニュアル」に定める.		